

絶滅した長頸竜類の遊泳性能に関する研究

松岡, 晃史

<https://doi.org/10.15017/4060210>

出版情報 : Kyushu University, 2019, 博士 (工学), 課程博士
バージョン :
権利関係 :

氏名	松岡 晃史		
論文名	絶滅した長頸竜類の遊泳性能に関する研究		
論文調査委員	主査	九州大学	准教授 中村 昌彦
	副査	九州大学	教授 胡 長洪
	副査	九州大学	准教授 山口 悟

論文審査の結果の要旨

本論文は、流体力学的・制御工学的アプローチに基づいて化石から復元された長頸竜類の遊泳シミュレーションを行い、古生物学者が化石の形状から推定している捕食活動の違いを工学的に精緻に裏付けたものであり、古生物の生態研究に大きく寄与したと言える。また、使用された手法はアクアバイオメカニクスの観点から水中ロボット工学の発展に寄与するところが大きく、博士(工学)の学位に値すると認める。